

三愛 ビュー view

発行所：三船病院相談室
 創刊日：2003年8月15日
 〒763-0073
 香川県丸亀市柞原町366
 Tel 0877-23-2341
 Fax 0877-23-2344

「自立訓練（生活訓練）事業所レイクビュー開所にあたって」

自立訓練(生活訓練)事業所レイクビュー 管理者 大石 由実

2007年6月11日香川県第1号となる精神障害者退院支援施設加算対象自立訓練(生活訓練)事業所レイクビューが開所しました。そこで当該事業所の概要と開所に至るまでの三船病院における多職種チームの退院支援の取り組みについてご紹介します。



医療法人社団三愛会コミュニティケアセンターの1事業所である自立訓練(生活訓練)事業所レイクビューは、2007年6月11日、利用者26名(男性20名女性6名)でスタートしました。建物は鉄筋1階建ての訓練棟と鉄筋3階建て居住棟(1ユニット10名)に分かれています。利用定員は30名、利用期間は2年(1年利用延長可能)、利用対象者は精神科病院に概ね1年以上の長期入院者であり、住所地から障害程度区分認定調査を経て訓練等給付の支給決定を受けた精神障害者、知的障害者、身体障害者です。利用者の平均年齢は54.1歳、平均在院日数5,011日(13.7年)(最長入院日数15,875日(43.5年)最短入院日数295日です。利用者の住所地は香川県下6市2町にまたがり、香川県外の方も2名います。利用者の生活課題としては社会経験の獲得、日常生活技能の向上、コミュニケーション能力の向上、対人関係調整、信頼関係の構築、仲間作り、新しい環境への適応、金銭管理、服薬継続管理、病状安定、家族への信頼回復等があります。また、ボランティア活動や啓発活動を通じて地域住民へ理解を求めていくこと等があげられます。

活動内容も日常生活に密着し、地域貢献、地域移行推進を意識した取り組みに重点を置いて、マンツーマンの個別支援に加え、入所者ミーティング、講習会、調理、スポーツ、外来受診援助、居室訪問活動、カルチャークラブ、清掃活動、園芸活動、レクリエーションの事業等を実施し、地域の公共施設や市民講座等社会資源の積極的利用に努めています。さらに(医)三愛会地域移行推進協議会を立ち上げ年に3、4回程度地域の協議委員と事業所の地域移行推進の意見交換をする機会を設けています。

三船病院では2004年9月に地域生活支援室を設置し、多職種による地域生活支援委員会を組織しました。退院意欲の低下している方や、精神疾患以外の病気で長期入院されている方を対象とし、長期間にわたり積極的に動機付けを行い計画的に退院へ繋げるプロジェクトを推進してきました。2007年6月に病院敷地外に建設予定の居住施設への30名同時退院と、病院の入院病床削減を目標として掲げ、2006年12月にプロジェクトチームを発足しました。2007年1月の地域生活支援委員会において開放病棟より対象者を選出し、支援期間を4ヶ月(16週間)に設定しました。徳島大学医学部保健学科地域・精神看護学講座谷岡哲也准教授の協力の下、統合失調症用の退院支援クリニカルパスを使用し、コンピュータシステムによる退院支援のアウトカム管理を実践するとともに各職種の役割について明確にしました。



病棟では主治医、看護師が生活能力動作のアセスメントを行い、対象者の生活課題をあげ個別看護計画を作成し、病棟内で個別に更衣、洗濯、服薬自己管理、身辺整理、単独外出等の練習・指導・援助を行い、さらに作業療法への参加促進、薬剤師による服薬指導等を行いました。医療相談室では相談室グループワークを実施し、看護師、薬剤師、栄養士、作業療法士らと協力しながら退院後の生活に向けて調理実習・服薬についての講義・施設見学・家族交流会等のプログラムを実施し、退院前からグループ内での仲間作りや信頼関係の構築、生活のイメージ作り、継続的な動機付けを行いました。毎月各病棟にて主治医、看護師、薬剤師、栄養士、作業療法士、精神保健福祉士等が集まって多職種カンファレンスを開き、状況把握と今後の支援方針について協議しました。また、三船病院のスタッフと三愛会コミュニティケアセンターのスタッフの合同で行われる毎月の地域生活支援委員会にて進捗状況を把握するとともに施設の指定認可申請の進行状況も確認しました。

2007年4月に厚生労働省が精神障害者退院支援施設加算の実施決定したのを受けて、自立訓練(生活訓練)事業所の立ち上げを正式に決定し開所準備を進めてきました。支援を進めていく中で、対象者の退院意欲が向上しスムーズに退院に繋がった方、自身の不安が強く気持ちが揺れ動いた方、家族の反対があった方、自身が退院拒否したため支援中止した方、精神症状が不安定になり支援中止した方等様々な状況がありましたが、最終的に26名の方の退院が実現しました。

今回のプロジェクトによりレイクビューへ入所された方々は、日々の生活に不安や戸惑いもありながら日中

活動を通じてそれぞれの生活を構築しています。ここに感想の一部を紹介します。

「ここに来てよかった」、「日中活動でドライブ等外出が多いのがいい」、「毎日が楽しい」、「お風呂が自由な時間に入れるのがうれしい」、「病院だったら門限があるが夕方過ぎても自由に外出できるのがうれしい」、「園芸で頼りにされているのがうれしい」、「2年後3年後のことを考えると不安なこともあるが、ある程度自己責任において自由に生活できるので退院できてよかった」等です。

レイクビューが開所して1ヵ月半が経過しました。開所当初は毎日様々なハプニングがありましたが、利用者それぞれを尊重しあい皆で意見を出し合いながら問題を乗り越えてきました。スタッフとしてレイクビューの退所後をイメージしながら支援・援助をしていかなければなりません、利用者の方々にはこれからの人生を謳歌していただきたいと願っています。



三船病院医師からのメッセージ...

「夏の暑さと体調管理」

三船病院医師 横村 真

夏は気温や湿度が高く体調を崩しやすい時期です。体がだるくなり、食欲が低下していませんか？ それはいわゆる「夏ばて」かもしれません。暑い日が続くとい口当たりのよい清涼飲料水やそらめんなどのさっぱりしたものを多く摂りがちになります。それでは栄養のバランスが崩れてしまい、体が必要とするタンパク質、ビタミン、ミネラルなどが不足してしまいます。

また蒸し暑いと寝苦しいため寝つきが悪くなり、生活リズムが崩れてくることもあります。そのため、場合によっては冷房の活用もよいでしょう。冷房を使う時は、適切な温度設定やタイマーの使用で冷やし過ぎないようにすることが大切です。また冷房による室内と室外の気温差にも気をつけなければなりません。温度差が大きいと体がうまく適応できない場合があります。公共の場のような温度設定を自分では変えにくい場所では、室内で一枚上にはおるのもいいでしょう。私自身も何とかの不養生とならないよう体調を維持していきたいと思っています。体調に関して何か気になることがありましたら、診察の時に気軽に相談してみてください。

三愛会 トピックス

★三船病院家族会

5月20日(日)9:00～三船病院家族会を開催しました。今回はグループセーリングによる琴と尺八の演奏と丸亀ユニオンジャズオーケストラによるバンド演奏が行われました。同日第9回家族教室も開催し、自立訓練(生活訓練)事業所レイクビューの説明を行い、多くのご家族が参加されました。地域生活について考える良い機会となりました。



★第17回相談室セミナー

6月7日(木)歯の衛生週間にあわせて、『歯科・口腔衛生について』と題し、当院の歯科衛生士より虫歯・歯周病予防について講話がありました。歯の模型を見本に持参した歯ブラシで正しいブラッシングの仕方の練習もしました。29名の参加があり、皆さまは熱心に話を聞かれ質疑応答の時間にはたくさんの質問がありました。



三船病院 委員会活動紹介

「栄養管理委員会・NST」

委員長 三船病院医師 福島 信幸

三船病院では、「栄養管理は全ての医療の基本である」という考えのもと、平成18年4月よりNST(Nutrition Support Team:栄養サポートチーム)を発足しました。

また、これにあわせて平成17年度中に「三船病院栄養管理手順」及び「三船病院 NST 規程」を策定し、それぞれ平成18年4月1日より施行されています。

これらは、栄養スクリーニング、栄養アセスメント、栄養管理プランニング、栄養管理モニタリングなどの栄養管理を、管理栄養士、医師、看護師、薬剤師、臨床検査技師その他の医療従事者が多職種で連携を保ちながら行うことを主眼としています。

低栄養状態(血中のアルブミン値などで判定します)の方、胃瘻・腸瘻を造設している方、TPN(完全静脈栄養)を施行している方など、特に濃密な栄養管理を要する患者様に対しては、毎月原則第3水曜日に、管理栄養士、医師、看護師らによるNST 回診を行い、最適な栄養管理を行えるよう努めています。

また、月1項目のペースで輸液勉強会を開催するなど、多職種が一堂に会して栄養管理に関する知識・情報に接することができる機会を設けてきました。今後も継続していく方針です。

《委員会》

- | | | |
|--------------------|---------------------|-------------------|
| ・教育委員会(第1水曜日) | ・衛生委員会(第2水曜日) | ・病院機能評価委員会(水曜日) |
| ・個人情報保護委員会(第1水曜日) | ・業務改善委員会(第2水曜日) | ・倫理委員会(年1回) |
| ・情報システム委員会(第1水曜日) | ・診療録管理委員会(第2金曜日) | ・医療ガス安全管理委員会(年1回) |
| ・クリニカルパス委員会(第1水曜日) | ・薬事審議委員会(第3水曜日) | ・予算管理委員会(年1回) |
| ・地域生活支援委員会(第1水曜日) | ・院内感染対策委員会(第3金曜日) | ・接遇管理委員会(年2回) |
| ・行動制限最小化委員会(第1金曜日) | ・栄養管理委員会(第4水曜日) | ・診療情報提供委員会(随時) |
| ・人権委員会(第1金曜日) | ・褥瘡予防対策委員会(第4水曜日) | |
| ・医療安全管理委員会(第2水曜日) | ・患者サービス向上委員会(第4水曜日) | |



【介護老人保健施設 福寿荘】

作業療法士 内林 佳代

介護老人保健施設では、できる限り利用されている方の生活の自立を促し、家庭や社会への参加に繋げることを目的に、ケアを行っています。最近の介護保険法改正により、高齢者介護の分野では医療と介護、リハビリテーション、栄養管理に重点が置かれるようになり、今回はリハビリテーションについて簡単にご説明させていただきます。

リハビリテーションの流れは評価に始まります。まず、現在の食事・排泄・入浴等の日常生活動作や歩行が実際にどのように行われているのかを把握します。そしてご本人の健康状態や心身機能などから生活上の課題を抽出していきます。これをもとに生活機能の維持・改善に向けた目標と訓練プログラムを設定しています。これらには医師、看護師、作業療法士、介護職、栄養士などの全職員が関わっており、さらにご本人やご家族の意見を取り入れながら、リハビリテーション計画書として作成しています。リハビリテーション計画書は入所・短期入所・通所のサービスを利用されている全ての方々に対して作成し、定期的に見直しを行っています。そして利用者様の同意のもと、計画書に基づいた訓練を実施しています。

【三愛会コミュニティケアセンター】

地域活動支援センターはなぞの 木村 潤

平成18年10月より「はなぞの」は、香川県の指定を受け「指定相談支援事業所はなぞの」として事業を開始しました。2名の相談支援専門員を配置し運営にあたっています。障害者自立支援法では、障害種別を問わずにサービスの提供を行うことが原則となっていますが、はなぞのでは、対象となる主な障害種別を“精神障害者”としています。

今回は、指定相談支援事業所が行う障害福祉サービスの中で、特に「サービス利用計画作成」についてお知らせします。

「サービス利用計画作成」は、特に計画的な支援プログラムを重点的に必要とする方を対象に、相談支援専門員がニーズや生活状況をアセスメントし、ケアマネジメントを行いながら福祉サービスの利用や保健、医療、就労などを含めた全般的な生活設計を支援していくものです。

具体的には、①長期間の入院、入所から地域生活へ移行しようとする方②単身者あるいは家族や周囲からの支援が受けられず、自ら福祉サービスの利用調整をすることが困難で、計画的な支援を必要とする方③重度障害者など包括支援対象者のうち他の障害福祉サービスの支給決定を受けた方、が対象となります。支援の内容は、生活全般相談、情報提供、計画作成、サービス担当者会議の開催、サービス提供事業所との連絡調整、モニタリングなどがあります。

利用の流れとしては、まず、利用希望者が市町村へ申請します。そして市町村より支給の有無や支給期間が決定され利用者として指定相談支援事業所が契約を結び、上記のサービスを開始します。「サービス利用計画作成」は社会的入院の是正や施設から地域への移行が進む中で今後ますます必要とされる支援です。

《三船病院からのお知らせ》

【行事予定】

○三船病院夏祭り

日時:8月18日(土) 17:30~

場所:三船病院運動場

演目:ゲスト演奏

「讃岐まんのう太鼓」

「古林英文&ブルーハワイアン」

盆踊り、カラオケ、花火など



《編集後記》

残暑が厳しく続いておりますが、皆様いかがお過ごしでしょうか。夏バテなどで体調を崩しやすい時です。充分にお気をつけ下さい。

さて、6月にレイクビューが開所したことで多くの方の退院が実現し、それに伴い当院の病棟を一つ閉鎖しました。長期入院されていた方にとって、これは地域生活に向けての大きな一歩になるかと思われます。しかし、今回の退院支援対象者に挙がりながらも様々な事情により退院が実現できなかった方もいます。今後も引き続きその方たちの退院支援に関わりながら、新たな退院支援対象者にも多職種によるチーム医療を用いて支援をしていきたいと思っております。

(三船病院相談室PSW)